

## 世界で新設ライトレール(LRT) 211都市

■2022 年末現在、1978 年のカナダのエドモントンに始まるライトレールの新規開業都市は、12 月 28 日に中国・武漢の近くに位置する黄石市に開業したことで 211 都市となった。

■新規開業都市の地域は欧州(東欧を含む)が最も多く、北米、アジアの順となる。国別では米国が最も多く、次いでフランス、中国、スペイン、トルコと続く。既存の路面電車・ライトレールの運行都市を含めると最も規模が大きいのがドイツで 58 都市で路線長が約 3,100km、次いでロシアが 61 都市で約 2,400km、米国が 45 都市で約 1,700km(観光路線を含む)、ウクライナが 20 都市で約 1,000km(休止都市を含む)、ポーランドが 15 都市で約 930km、フランスが 30 都市で約 800km である。ドイツはもちろんのこと、東欧の国々でも低床車両の導入や路線の改良により、既存の路面電車もライトレールと呼ぶにふさわしいレベルに達しつつある。ちなみに世界基準で見た日本の路面電車・ライトレールの運行都市は 19 都市で約 280km である。

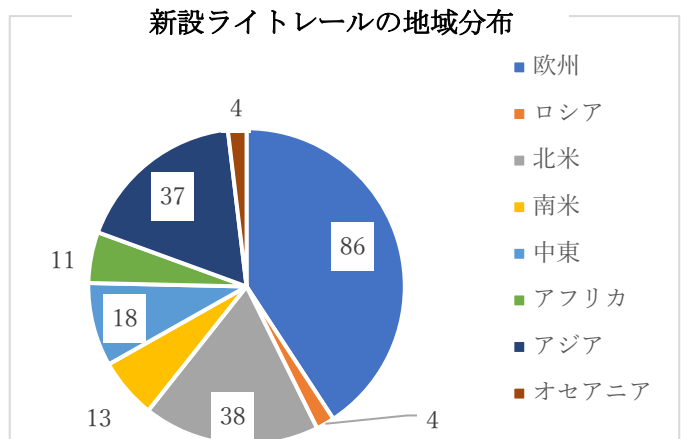
■米国のライトレールは郊外鉄道が都市に直接乗り入れてくる路線形態で、路線規模が大きい。それとは異なり中心部の再開発にあわせてストリートカーと呼ばれる小規模な路面電車を新設する都市があり、導入都市数は 16 に達している。

■最近 10 年で特に開業が多いのが中国で、21 都市で開業し、地下鉄のフィーダーサービスや中規模都市の基幹交通として運行されている。専用走行路だけを運行するシステムも増えつつある。キャパシタ等を使った架線レス運行や燃料電池車両など、最新技術も導入されている。反面、計画が未成熟で、うまく機能していない都市もある。

■台湾では近年 2 都市で開業し、1 都市でまもなく開業する。また、韓国でも建設が進められており、韓国製の低床車両がポーランドなどに輸出されている。

■トラムトレインとして、低床車を使って全線が専用走行路を走るシステムや、既存の鉄道に直通で運行する都市も増えている。低床連接車による路面走行にこだわるのではなく、自動車の利用を減らすため、低コストで公共交通全体の機能性を高めるための核となる軌道系のシステムがライトレールとして認識されるべきであろう。

国別新設都市数		
国名	開業都市数	備考
米国	33	ストリートカー16都市(重複分を含む)
フランス	27	
中国	24	香港を除く
スペイン	17	
トルコ	12	
イタリア	9	
英国	8	
アルジェリア	6	



1978年以降のライトレール開業都市数(2022年末現在)

